

アイルランド国立美術館名品展

アイルランドの首都ダブリンにある国立美術館は1864年に公開され、現在では14世紀から20世紀にいたるヨーロッパの優れた絵画・彫刻からなる約1万点の充実したコレクションを有している。

本展では、美術館の所蔵する約2500点の油彩画の中から16世紀から19世紀に至る西洋美術館の歩みをたどることができるように、ティツィアーノ、ティントレットなど16世紀ヴェネツィア派を始めとするイタリア絵画、ルーベンス、フランス・ハルス、ロイスダールに代表されるフランドル絵画、プッサンから始まりシャルダン、ブーシェを経てドラクロアに至るフランス絵画、エル・グレコ、ムリーリョ、ゴヤを含むスペイン絵画まで、ルネッサンスからロマン主義に至る名品53点を展覧した。日本ではこれまであまり知られなかった作品で、ヨーロッパ絵画の重厚な歴史を味わう機会となった。



※この図録は完売いたしました。

会期／平成6年2月26日（土）～4月10日（日）

会場／特別展示室1、南蛮美術館室

主催／神戸市立博物館、神戸新聞社、毎日放送

アイルランド国立美術館名品展実行委員会

後援／外務省、文化庁、アイルランド大使館、兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会

協力／日本航空

開催日数／38日

入館者数／40,580人（1,068人／日）

出品件数／53点